

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
輸血移植検査学実習	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	反町 彰志 ※
授 業 概 要					
輸血検査に必要な基礎知識の確認と実際の輸血学検査の手技を理解する。また、輸血検査の判定ミスは直接患者の生死に関わるため、輸血検査における正確性と迅速性について実習を介して経験する。さらに患者様の痛みや苦しみが理解できる臨床検査技師を目指す。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血と移植に関する基本的な知識を理解している。</li> <li>・輸血検査の検査手順を修得し、凝集反応の結果を正しく判定できる。</li> <li>・多項目を同時に効率よく検査できる力を身に付ける。</li> <li>・検査データを迅速かつ正確に報告する精神を身に付ける。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
反町 彰志、五十嵐 康之：病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の技術について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	ABO 血液型判定（試験管法：おもて・うら検査） Rh 血液型判定（試験管法）				反町 彰志 ※ 五十嵐 康之 ※
3-4	D 陰性確認試験（間接抗グロブリン試験）				
5-8	抗 D 抗体価、抗 A、抗 B 被凝集価測定				
9-10	ABO、RhD 血液型判定（カラム法）				
11-12	不規則抗体スクリーニング				
13-14	直接抗グロブリン試験				
15-16	抗体解離試験（DT 解離法）				
17-20	不規則抗体同定検査				
21-23	交差適合試験				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び配付資料によりしっかりと基礎知識を理解すること。</li> <li>・不明な点は必ずその場で解決すること。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート等（40%）及び実習終了試験、実技試験等（60%）により評価する。</li> <li>・レポートは評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。</li> <li>・再試験はレポートの再評価を行わない。</li> </ul>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 免疫検査学 窪田哲朗 他 医歯薬出版 JAMT技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本 第2版 池田和博 他 丸善出版 配付資料					